

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択（ ／ ／ ）
授業科目名：教育原理 英語表記：Principles of Education ナンバリング：2106			単位数：2単位 （半期）講義 担当教員名：伊藤道雄 担当形態：単独
科目／系列	教育の基礎的理解に関する科目／保育の本質・目的に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想／教育原理		
【授業の到達目標及びテーマ】			
1. 教育に興味と関心を持ち、教育の基本概念から教育の意義や目的が理解できる。			
2. 歴史的観点から教育や学校の変遷が理解できる。			
3. 教育者による教育の思想を理解し、子どもと学校・家庭の教育へのかかわりが理解できる。			
【授業の概要】			
教育とは何か、について教育の歴史や思想において、それらがどのように取り扱われ、幼児教育や学校の役割や営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。このことを踏まえ現代における教育とは何かを考えていく。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			○
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			○
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】			【授業時間外の学習】
第1回：オリエンテーション、学園訓と教育、教育原理で学ぶこと			（毎回 60～90 分必要）
第2回：教育とは何か（目的・意義）			・テキストと配布資料を必ず読んでおくこと。
第3回：教育の変遷（日本：制度・法・人物）			・図書館やWebサイトで配布課題を調べておくこと。
第4回：教育の変遷（西洋：制度・法・人物）			・教育関連の重要条文を覚えるように事後学習をすること。
第5回：教育の拡大と充実（教育制度と歴史）			・現代の教育問題を自分なりに取り上げておくこと。
第6回：幼児教育機関と小学校の連携（現代の教育課題）			・課題の人物と業績を調べておくこと。
第7回：望まれる教師と役割（歴史的教育家）			・幼児教育の現代的課題を抜き出しておくこと。
第8回：幼児教育に期待されること（家庭や社会と学校の連携）			・子供の成長と発達に合わせた教育についての考えを書き出しておくこと。
第9回：現代の教育課題（100年時代の生涯教育他）			・担当部分の相互教授資料を完成させて、プレゼンテーションの準備をしておくこと。
第10回：子供の理解（成長と発達）			
第11回：教育の実践（方法・計画など）			
第12回：「教育とは何か」相互教授A（4名）とフィードバックテスト			
第13回：「教育とは何か」相互教授B（4名）とフィードバックテスト			
第14回：「教育とは何か」の模造紙作成（グループワーク）			
第15回：「教育とは何か」の模造紙発表（グループワーク）			

定期試験：筆記	
【授業の方法】 講義とグループワーク（相互教授など）を実施し、学生中心の学習活動を主とする。その中から湧き出た事柄を学生同士で話し合い、理解を深める形式で授業を進め、フィードバックを行う。	
【テキスト】 『幼児期から児童期への教育』国立教育政策研究所編、ひかりのくに株式会社発行	
【参考書・参考資料等】 幼稚園教育要領(最新版)、保育所保育指針(最新版)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(最新版)、保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・解説とポイント(最新版)、小学校教職課程学生ハンドブック（東京都教育委員会）、教育小六法（最新版）（市川須美子編、学陽書房）他 関連する書籍などは授業中に提示する。	
【学生に対する評価】 発表資料・レポート（30％）・授業参画度（10％）・定期試験（60％）で総合的に評価する。 目標の達成度評価基準はルーブリックで示す。	
【履修上の注意】 アクティブ・ラーニング形式の授業、学生で作りあげる方式の授業なので、事前事後学習を怠らないことや欠席しないことなど、積極的に授業に臨む姿勢と意欲が重要である。	
実務経験の有無：有	実務経験：元小学校教諭、元特別支援学校教諭、校長、指導主事
【実務経験を生かした教育内容】 実務経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら授業を行う。	